

廃墟の中の希望

■著者／野澤和弘

■発行／Sプランニング（☎03-3766-1636）

■税込価格／1,260円



障害者虐待防止法が、やっと成立しました。新聞記者として早くから各地の虐待事件を発掘してキャンペーンをし、千葉県で障害者差別をなくす条例をつくり、6年前から法制定に向けて取り組んできた著者は、この法律を「まるで廃墟のような政治の風景の中で産声を上げた」「期待していると裏切られ、あきらめていると希望をもたらしてくれる」と言います。本書は、この数年に書いた記事や講演録を収録したもので、目まぐるしく変動する政局の流れと障害者施策を、「障害者自立支援法を評価してきたほとんど唯一の記者」を自認する著者が、ジャーナリストとして総合福祉部会の委員として、障害のある子の父として思いを込めて語っています。

東日本大震災の後、地域で支援を必要としているのは障害者だけではありません。そんな情勢もとらえながら、障害のある人が安心して地域で暮らし続けていくために、今取り組むべきことは何か、著者の言う人の世の「希望」について話し合いたくなりました。

（手をつなぐ編集委員 左古久代）